



10月29日(土)

競走馬を間近に大興奮

〜大山ヒルズ見学会〜

伯

昔町真野にある競走馬トレーニング施設「大山ヒルズ」で10月29日(土)、特別見学会が開催されました。

大山ヒルズは、平成15年3月に開設された、ノースヒルズグループの競走馬育成調教施設です。JRAでの出走を目的に、2歳馬や休養馬の調教をしています。

一般公開されていない施設のため、1年に1回開催する見学会の抽選には、たくさん応募が寄せられます。今回は、抽選で選ばれた47人が参加し、厩舎見学や大山ヒルズからのプレゼント抽選会などが行われました。

参加者は、馬見せ場で競走馬たちを間近に見て、「すごい筋肉」、「思ったより大きい」など興奮した様子で、記念撮影を楽しみました。



▲馬の愛らしい表情に思わず笑顔



▲競走馬を間近で見学

10月30日(日)

大山の自然・歴史を堪能

〜まちの応援隊

「日本遺産 大山周辺を歩いてみよう」

今

今年4月に日本遺産に認定された大山山麓を楽しまながら学ぶイベント「日本遺産 大山周辺を歩いてみよう」が、10月30日(日)に開催されました。町内外から参加した27人は、往時の面影を残す牛馬道や、屈指の名水地「地藏滝の泉」を訪れ、大山の自然・歴史を堪能しました。

これは、伯耆町の誇りを探し、伝える活動をしている「まちの応援隊」が、毎年テーマを変えて企画・実施しているもので、今回で5回目の開催となりました。

参加者は、ガイドから大山信仰の歴史や大山牛馬市の成り立ちなどを教わった後、牛馬道を散策。その後、冬になると大山寺の僧侶が生活・仕事をしたという「丸山代官所跡」や、大山寺の参拝者が水飲み場として愛用した「地藏滝の泉」のほか、美しい景観で今も親しまれる「大成池」を訪れました。

町内から参加した60代の女性は、「知らない所が多く、たいへん勉強になった。もっといろいろな所へ行ってみたい」と話しました。



▲牛馬の鑑札を渡したとされる番所跡に立つ大鳥居

子どもたちに快適な環境を

〜岸本放課後児童クラブ

第2ルームをリニューアル〜

岸

本放課後児童クラブの児童受入施設が、利用児童の増加に対応するため、12月から第2ルームを新しくします。新ルームの設置によって、岸本放課後児童クラブの定員は65人から80人に増え、より多くの子どもたちに快適な環境を提供することができます。

放課後児童クラブとは、仕事や家庭の事情で保護者が不在になる家庭の小学生に対し、授業終了後、保護者に代わって児童に遊びや学びの場を提供して、安全確保や健全育成を図るものです。伯耆町は、岸本、溝口、八郷の3か所で実施しています。

これまで、岸本放課後児童クラブは、第1ルームで約40人、第2ルームで約25人を受け入れていました。近年、入所希望者が定員を上回る状況が続いていたため、第2ルームを40人受け入れ可能な建物に建て替えました。

新しい第2ルームは、岸本小学校体育館横に設置され、12月から開設します。なお、現在の第2ルームは使用を休止します。



▲12月から開設する新しい岸本放課後児童クラブ第2ルーム(写真左)